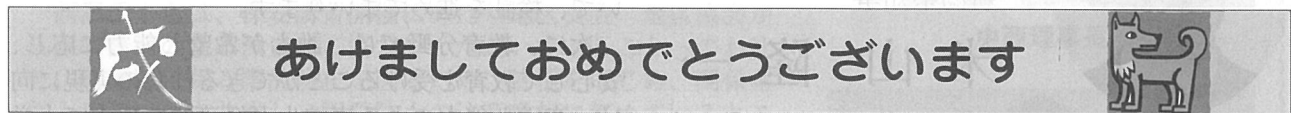


### 第201号

発行所 新潟市中央区新光町 15-2  
新潟県公社総合ビル内  
公益財団法人 新潟県危険物安全協会  
TEL 025-285-3490  
発行者 理事長 中西 一 則  
編集者 事務局長 山崎 俊 雄  
印刷 (株)ハイングラフ



昨年中は大変お世話になりました  
本年もよろしくお願い申し上げます

平成30年 元旦

〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 県公社総合ビル内  
公益財団法人 新潟県危険物安全協会

理事長 中西 一 則  
副理事長 北 原 和 夫  
副理事長 渡 部 陽  
専務理事 山 崎 俊 雄

### 新年のごあいさつ



公益財団法人  
新潟県危険物安全協会  
理事長

中西 一 則

あけましておめでとうございます。

新潟県危険物安全協会会員事業所並びにご家族の皆さまにおかれましては、ご多幸とご繁栄を心からお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に対して多大なるご尽力とご協力賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、イスラム国 (IS) の首都ラッカは陥落しましたが、テロリストが潜伏したことでテロの脅威がより身近になっています。安全は無償ではありません。また、「Jアラート (全国瞬時警報システム)」を通じ、サイレンと緊急情報が流れたら、新潟県にいる私たちは直ちに安全な場所

に避難しなければならなくなりました。

一方、新潟県は平成25年に独自の津波浸水想定を公表しましたが、国が公表した新たな津波断層モデルを踏まえ、昨年11月に新たな津波浸水想定を作成して公表しました。これに準じ、私たちの緊急避難方法も見直す必要が生じています。考えさせられることが多い1年でした。

さて、県内の危険物施設の事故件数は平成25年から3年間は平均30件で少なかったものの、平成28年は36件と増加していましたが、昨年は25件 (11月末現在) で減少しているとのことです。しかし、新潟県の流出事故発生率は全国平均の約2倍にもなっています。主な事故原因は腐食等による施設劣化によるものです。

会員の皆様におかれましては、施設の積極的な更新、維持補修だけではなく、異常を見つけたら速やかに消防を含めた関係官庁へ通報し、二次災害の拡大防止を心掛けましょう。

最後となりますが、本年も皆様のますますのご健勝とご発展をお祈りするとともに、当協会に対しての変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い致しまして、新年のご挨拶といたします。

《 当協会のホームページで講習の受付状況等について速やかにお知らせしています。 》  
お申し込みの参考にしてください。

## 新春知事ごあいさつ



新潟県知事

米山 隆一

平成30年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様には、日ごろから危険物の保安の確保にご尽力いただき、感謝を申し上げます。

昨年は、糸魚川市大規模火災への対応から新たな1年が始まりました。これまで、復旧・復興にご尽力いただいた皆様に改めて心から感謝申し上げます。

また、就任から1年余りが経ちました。この間、多くの皆様からお力添えをいただき、県政を進めることができました。改めて知事としての職責の重さを実感するとともに、非常に大きなやりがいを感じています。

昨年を振り返りますと、新潟の新しいお米「新之助」が本格デビューしました。生産者の皆様が丹精込めて育てた「新之助」は、大粒でコクと甘みに満ちており、首都圏などでも大変好評を頂いております。今後、米どころ新潟のコシヒカリと双璧をなすトップブランドとして定着するよう取り組んでまいります。

また、ピーチアビエーション株式会社が、新潟空港と関西国際空港を結ぶ路線を、今年の3月1日から開設します。県のこれまでの誘致活動を通じて、新潟のポテンシャルが高く評価され、新潟空港初のLCC（格安航空会社）の就航が実現したものと思います。国際線についても、昨年11月に台北線が定期便化、またソウル線においてスキー需要を見込んだ増便が行われています。今後、「新潟空港の路線ネットワーク戦略2017」に基づき、平成32年度の空港利用者数135万人の達成に向けて、新潟空港の利用促進、利便性の向上に取り組んでまいります。

新之助、新潟空港ともに、ぜひ県民の皆様からご愛顧いただき、新潟の新たな可能性をともに育てていきたいと考えております。

さて、本年は、就任時に約束いたしました「県民の命と暮らしを守り、現在と未来への責任を果たす」県政の実現に向け踏み出した歩みを、着実に前へ進めてまいります。

まず、原子力発電所については、引き続き、県民の皆様を最優先に、福島原発事故の徹底的な検証がなされない限り、再稼働の議論は始められないという立場を堅持しつつ、3つの検証委員会において、検証を進めてまいります。

次に、教育分野では、誰もが希望と能力に応じ、安心して教育を受けることができる社会の実現に向け、意欲と能力のある高校生が経済的な理由で大学への進学を断念することがないように、「新潟県版給付型奨学金制度」を創設し、より多くの子どもたちが、進学希望をかなえられるよう、取り組んでまいります。

また、地域の医療体制を整備する上で喫緊の課題である医師の確保については、この春から臨床研修を始める医学生と県内研修病院のマッチング数が、前年度に比べて大幅に増加しました。今後も引き続き、研修医を惹きつける取組などを通じて、医師の確保に取り組んでまいります。

そして、県政の最重要課題である人口減少問題への対策に、より一層力を入れて政策を推進し、新潟県が、子育てしやすく、暮らしやすく、学びやすく、働きやすい、総合的に魅力ある、人々に選ばれる地として、持続的に発展していけるよう、県政のあらゆる分野での取組を総動員し、全力を挙げて取り組んでまいります。

「命と暮らしが守られ、一人一人が未来への希望を持って自らの幸福を実現できる新潟県を創る」を新たな総合計画の基本理念に掲げ、「現在と未来への責任を果たす県づくり」に向けて取り組んでまいります。

また、県では貴協会と共に、危険物実務研修会の開催など、危険物に係る事故の再発防止に努めております。貴協会会員の皆様におかれましても、危険物施設の保安管理の充実・強化に努め、事故の未然防止を徹底いただきますようお願いいたします。加えて、国が公表した津波断層モデルを踏まえ、昨年11月に新たな津波想定を作成したところであり、新たな浸水地域に該当する製造所等の皆様におかれましては、必要な対策の策定や見直しなどにより被害の最小化に更なるご尽力をお願いいたします。

来月には、平昌で冬季オリンピック・パラリンピックが、また、妙高市でいがた妙高はね馬国体が開かれます。選手の皆様が持てる力を発揮し、私たち県民に、勇気と感動を与えてくれるものと期待しています。

結びに公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

## 第31回新潟県保安大会開催（保安功労者等の知事表彰）

新潟県と新潟県保安関係団体協議会（構成6団体）の共催により、平成29年10月30日（月）に、第31回新潟県保安大会が新潟県知事（代理：溝口洋副知事）出席のもと、県議会議長、県警察本部長、県消防長会会長（新潟市消防局長）を来賓に迎え、大会関係者約140人が参加して県庁講堂で開催されました。

「大会宣言」を採択した後、表彰式が行なわれ、当協会からは、デンカ生研株式会社新潟工場（執行役員新潟工場長中臣康雄 五泉東蒲原地区支会）が優良事業所として、前田貞信氏（見附市危険物安全協会）が保安功労者として、綱嶋正志氏（丸元石油株式会社所属 柏崎地区支会）、星卓也氏（星石油店所属 燕・弥彦地区支会）が優良従事者として、それぞれ新潟県知事表彰の栄誉に輝きました。

栄えある表彰は、受賞されました方々の災害防止に対する不断の努力の賜物であり心からお慶び申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。（前田貞信氏は10月26日に逝去されました。）



溝口洋副知事を囲んでの記念撮影



左から中臣康雄氏（代理 神田誠氏）、中西一則理事長、綱嶋正志氏、星卓也氏

表彰式終了後、「油火災の消火」という演題で、昭和シェル石油（株）環境安全部 新潟防災訓練所 所長 横山修氏の記念講演がありました。

油火災を実際に消火した実体験を通じて独自の消火法を確立し、火災の態様を1次元から3次元まで定義付けし、単独次元火災から複合次元火災に適合する消火法について実写映像を紹介しながら解説された。

一般的な粉末消火器の場合、消火効果が最も高いsweet spot と消火薬剤を流し込むべき場所を理解して消火活動をしなければならないが、実際に危険物を取り扱っている方であっても十分に理解されていない。また、消火にあたって一番大切なのは、正しい状況把握と火災の成長予測であり、実体験を踏まえて現場を考え、想像することが不可欠で、「言われてやるだけの訓練」では万が一の時に動けないことや、初期消火時に最強の消火設備を使用すべきであることも強調された。

安全面については火を消すことに夢中になると思わぬ火傷を負う事も紹介されるなど、大変有意義な御講演でした。



横山修氏

## 賛助会員の御紹介 ～賛助会員募集中～

当協会は、社会公共の安全に寄与するため、危険物実務研修会等を通じて防災意識を普及啓発すると同時に、危険物取扱者保安講習や資格取得を目指す方々を対象とした講習会等の公益目的事業を展開しています。

当協会ではこの目的に賛同し、活動に協力してくださる賛助会員を募集しています。賛助会員の皆様には「協会だより」等をお送りするほか、ホームページ及び協会だよりでご芳名等を紹介させていただきます。また、賛助会費は寄附にあたり、税制上の優遇措置もあります。詳細は当協会のホームページをご覧ください。

現在の賛助会員の内、法人会員は次の3社（五十音順、敬称略）です。

<p>(有) エステック 〒950-2023 新潟市西区小針1502番地3 電話：025-230-7007 Fax：025-230-7009 地下タンク等定期点検認定事業者 移動貯蔵タンク定期点検認定事業者</p>	<p>(有) オイルメンテナンス新潟 〒950-0063 新潟市東区上王瀬町1番50号 電話：025-279-0050 Fax：025-279-0051 地下タンク等定期点検認定事業者 <a href="http://e-abura.jp/">http://e-abura.jp/</a></p>	<p>(株) 羽生田 〒948-0036 十日町市川治2116番地1 電話：025-757-8511 Fax：025-752-4855 地下タンク等定期点検認定事業者</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------



## 危険物実務研修会を新潟、上越の2会場で開催

当協会が新潟県危険物事故防止連絡会と共催している危険物実務研修会を、11月29日(水)に上越市「上越人材ハイスクール」、11月30日(木)に新潟市「新潟テルサ」で開催いたしました。

開会にあたり、県防災局消防課高橋参事（新潟会場）、上越地域消防事務組合消防本部蓑輪予防課長（上越会場）からご挨拶をいただいた後、消防課予防係の水上市専門員、国立大学法人新潟大学 災害・復興科学研究所の卜部准教授から御講演をいただきました。いずれも大変有意義な内容でしたが、特に卜部氏からは、新潟県の地震・津波環境と「津波浸水想定図」について、永年地震・津波災害の調査研究に携わってこられた深い知識を基に、解り易く説明していただきました。

両会場合わせて195名が熱心に受講されており、貴重な教訓と情報を得て、今後、各事業所が率先して地震津波対策等に取り組んでいくことが望まれます。

両氏の講演の主な内容は、以下のとおりです。

### 1 水上正芳氏 「県内の危険物事故の概要について」

全国の危険物施設の事故統計をみると、新潟県では「火災事故」の発生率は少ないものの「流出事故」の発生率は極めて高く、全国のおよそ2倍となっている。県内の統計から、特に地下配管は30年を経過すると流出事故が非常に多くなるので、先手を打った詳細点検、更新が望まれる。消防庁では事故総件数が減少しないことから、「重大事故の発生防止」を目標としたが、そのためにはやはり軽微な事故を防止していくことの積み重ねが重要である。

この1年間に次のような特徴的な事故が発生した。

- ・ステンレス製屋外配管（可撓管）が腐食して流出した事故

国道沿いの事業所の配管が融雪剤飛沫が付着しやすい位置にあり、また外力による損傷防止等を考慮して上部のみにカバーがあった。このため、付着した塩分が降雨によって洗い流されず、9年という短い期間で腐食し貫通した。

- ・荷卸し時に通気管から返油が流出した事故

返油管がタンクの通気管に接続されており、ローリーから地下タンク貯蔵所へ圧送して荷卸ししていた時に一般取扱所からの返油があり、通気管からの蒸気排出とともに返油が通気管から流出した。返油管は専用の配管とすることが必要である。

### 2 卜部厚志氏 「新潟県の地震と危険物防災」

新潟県はフォッサマグナと歪集中帯が重なる部分に位置している。県内の活断層と歴史地震の研究結果によれば、新潟地区は地震の空白地帯となっており、今日、大きな直下型地震が発生してもおかしくはない。内陸活断層ではトップクラスの発生確率であり、また、地盤は確実に液状化する。

新潟県は11月15日に「津波浸水想定図」を公表したが、平成25年に県が公表としたものと比べて、津波高さや到達時間がより厳しくなっている。これは、想定する海底活断層の選択と発生するズレの規模が異なる他、堤防等の損壊の想定が変更されたためである。計算は緻密であるが想定する地震の規模等は仮定であり、どちらかが正しいというものではない。（経緯等については5ページを参照。）津波対策については、高さより到達時間が問題であり、気象庁等の発表を見てからでは間に合わないこともあるので、率先して行う個人の行動が重要である。また、特に新潟地域では河川遡上がポイントとなる。

また、災害心理でよく言われる「たぶん大丈夫」という認識である「正常化バイアス」に陥らないためには、正當にリスクを認知し、予見することが重要であり、このためには義務的に行う教育や訓練では効果は少なく、より実践に即した方法で、「出来ることを継続して着実に進める」しかない。

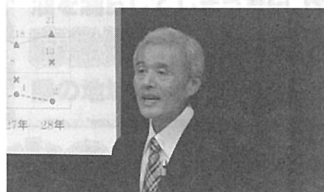
地震と津波の環境については、上越会場と新潟会場それぞれの地域の資料を用いて説明され、両地域の状況についてわかりやすく解説されました。



高橋 裕志 氏



蓑輪 和彦 氏



水上 正芳 氏



卜部 厚志 氏



研修会場全景（新潟会場）



## 新たな新潟県の津波浸水想定図が公表されました。 予防規程の見直しが必要です！

新潟県防災局消防課

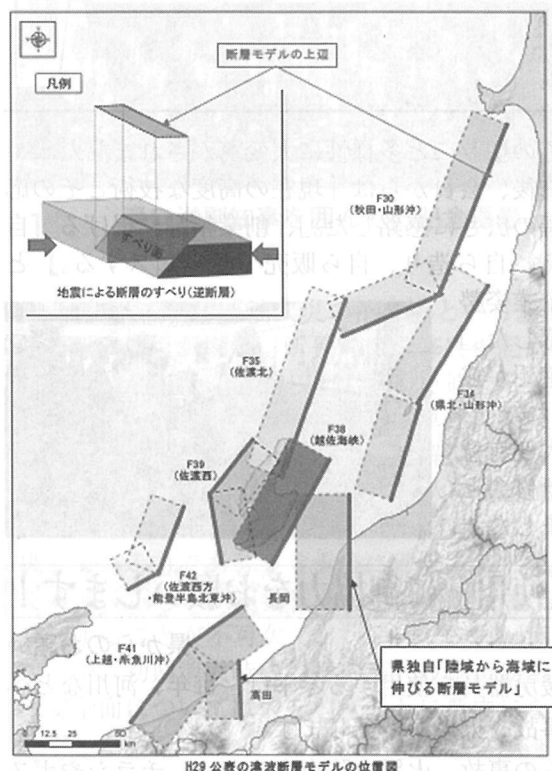
平成23年3月11日に発生した東日本大震災などを踏まえ、平成23年12月に「津波防災地域づくりに関する法律」が制定・施行されました。国では、津波を発生させる津波の断層モデルを設定することとなり、これを踏まえて都道府県では津波防災地域づくりを実施するための基礎となる、同法に基づく津波浸水想定を設定することになりました。

新潟県ではこれより以前に、津波対策を進めるため、学識者や関係行政機関による「新潟県津波対策検討委員会」を立ち上げ、平成25年12月には県独自

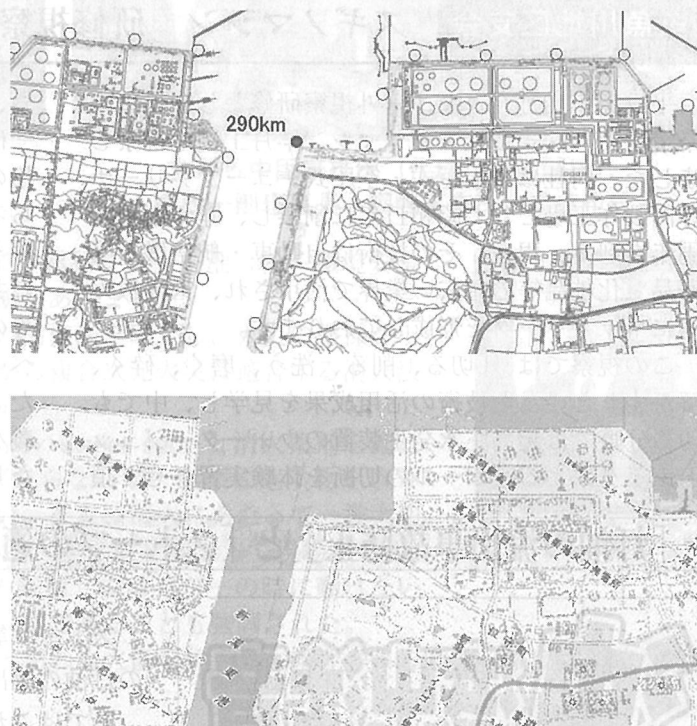
の最大クラスの津波浸水想定を公表していたところです。

その後、国による「日本海における大規模地震に関する調査検討会」において平成26年8月に、新たな知見による津波断層モデル（60断層）が公表されました。

これを受け、新潟県では国が公表した新たな知見に基づく津波断層モデルを踏まえ、新たな津波浸水想定を作成し、平成29年11月15日に公表しました。



津波浸水想定図（編集※）の比較



新潟県ホームページに津波浸水深図や浸水開始時間分布図が掲載されています。  
(<http://www.pref.niigata.lg.jp/bosaikikaku/h29tunami.html>)

消防法では地方公共団体が想定した津波浸水想定に基づき、予防規程に地震に伴う津波が発生し、又は発生するおそれがある場合における施設及び設備に対する点検、応急措置等に関する事項を定めなければならないとされています。それに加え、津波浸水深がタンク底板から3m以上となる特定屋外貯蔵タンクについては、配管からの危険物流出防止措置についても予防規程に定める必要があります。

新たな津波浸水想定では、多くの地域で、平成25年の想定よりも津波浸水深が深くなっています。また、新たに津波浸水地域となった地域もあります。

平成25年公表時に予防規程に地震・津波対策について変更済みの危険物施設では、新たな浸水深、浸水開始時間を確認し、必要に応じて予防規程を見直して市町村長等の認可を受けてください。また、新たに津波浸水地域に該当することになった予防規程の策定を要する危険物施設は、速やかに必要な事項を予防規程に定め、認可を受けてください。また、予防規程の策定を要しない製造所等においても津波警報発令時や津波の発生するおそれのある状況における緊急時の対応について検証し、安全化措置や避難計画を定めておくようお願いします。

参考：平成24年1月31日消防危第28号、平成24年8月21日消防危第28号消防庁危険物保安室通知

### 長岡地区支会 救急車が来るまでに…普通救命講習会を開催！

平成29年9月8日(金)長岡市消防本部において、同本部救急隊隊員を講師に、「普通救命講習会」を開催しました。

この講習会では、救急車が到着するまでの間、傷病者のそばに居合わせた人が行う心肺蘇生法やAEDの使用方法を中心に、出血時の止血法、口や喉に詰まった異物を取り除く方法を学びました。

講師から、「救急車が到着するまでには全国平均で約9分間かかります。救急車が到着するまで手をこまねいては、助かる命も助けられない。そうならないためにも、心肺蘇生法やAEDの使用方法を身に付けておくことが大切である。」と説明があ

り、参加者は汗を流しながら実技指導を受けていました。

講習会を終えた参加者からは、「心肺蘇生法やAEDの使用方法に自信が持てました。そのような場面に遭遇したら勇気を持って行動に移していきたい。」との感想をいただきました。



実技講習を受けている様子

### 糸魚川地区支会 スギノマシン 研修視察

平成29年10月6日(金)、管外視察研修として、富山県滑川市の株式会社スギノマシン早月工場を視察しました。同社は、水圧式・空圧式チューブクリーナ専門製作工場として昭和11年に創業し、昨年創業80周年を迎え、現在、その技術は自動車・航空機・医薬品・化粧品等の幅広い業界で活用され、世界数カ国にネットワークを形成しております。

この視察では、「切る、削る、洗う、磨く、砕く、解かす」といった技術の活用成果を見学し、中でも切る分野では超高圧水発生装置のウォータージェットカッタによる段ボールの切断を体験実習させて頂

き、その切り口と多様性に大変驚かされました。

研修後、会員からは「現在の高度な技術とその応用の幅の広さに感銘した。」「創業精神に掲げる『自ら考え、自ら造り、自ら販売・サービスする。』という企業姿勢に共感した。」等の感想が述べられました。大変有意義な研修会となりました。



### 「灯油の流出事故防止」と「ストーブの適正使用」に御協力をお願いします！

県からのお願い

ストーブ等暖房器具を使用する冬季は、毎年、河川などへの灯油の流出事故や火災が多発します。

県ではこれらの事故、火災を防止するため、チラシやポスター等により事故防止を呼びかけています。

地区支会・地区協会員の皆様におかれましては、お客様へ「ホームタンクからの小分け中はその場を離れないこと」や、「ストーブの周りに燃えやすい物を置かないこと」などを周知して下さるようお願いいたします。

# 油流出注意

小分け中 ホームタンクから  
離れないで!!

作業後はしっかり  
バルブを閉めて!!

油を漏らしてしまったら、流れないように  
応急処置し、消防署、市町村役場や  
県の地域機関に通報しましょう

火の用心! ストーブに給油する際は  
キャップを確実に  
閉めましょう



### 皆さんにお願いしたいこと

- ① ホームタンクからの小分け中はその場を離れない
- ② 給油後はバルブをしっかり閉めたことを確認
- ③ 降雪前にホームタンクからの配管に異常がないか点検
- ④ 積雪でホームタンクや配管を傷めないよう注意
- ⑤ 油が流出したら、元栓を閉め、流れないように応急処置
- ⑥ ストーブへの給油は、火を消してから
- ⑦ ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



## 平成29年度第2回地区支会事務局会議開催

平成29年12月6日(水)に、新潟市新光町「トラック総合会館」において、県防災局消防課西潟良成副参事、水上正芳専門員のご参加をいただいて開催しました。

会議の冒頭、中西一則理事長が、今日の会議は今年度の協会業務の実施状況及び来年度の事業計画等の説明となっているので忌憚のないご意見をいただき、協会と地区支会・地区協会の意思疎通を図っていききたい旨、挨拶いたしました。

西潟氏からは、保安講習開催にあたり地区支会・地区協会から保安講習の講師派遣にご協力をいただいていることへのお礼と、危険物に係る事故防止を図るため、皆様をはじめ、関係業界と事故情報を共有し、再発防止の注意喚起に努めているところなので、引き続き御協力をいただきたい旨、ご挨拶いただきました。

会議では、平成29年度の協会業務が地区支会・地区協会のご協力もあり順調に進んでいることを報告すると共に、受験準備講習、保安講習の平成30年度の実施方針、協会役員の改選及び各種表彰事業の留意点等について説明しました。

来年度の事業計画等につきましては了承されましたので、理事会の承認を得て参ります。

### ○ 受験準備講習

平成30年度の開催計画は、平成29年度と同等とし、開催回数は15回を維持し、1日講習、土日開催、夏休み中開催も継続する予定です。

### ○ 保安講習

平成30年度の開催計画は、平成29年度と日程、会場とも、概ね今年度同様の計画で、3年周期開催の地区も従来どおりですが、上越市開催ではコンビナート講習を1回追加する予定です。

なお、佐渡市の講習会場は、会場側の都合により準備講習、保安講習とも変更いたします。



中西理事長



西潟副参事



会場全景

## 受験準備講習会に参加しませんか!!

～お申し込みは便利なインターネット受付で～

乙種第四類試験の受験準備講習会は、3月3日にある試験に向けて1月に3会場で開催いたしますので、奮ってご参加ください。(詳細はP8参照)

講習内容等については、平成29年12月12日(火)に開催した、「企業・専任講師会議」で講義方法等についても検討を行いました。講習会で行っておりますアンケート調査結果で最も重要である「受験勉強の参考となるよい講習会」だったかどうかについて、94%の方から「よかった」という評価をいただくなど、多くの受講者からご好評をいただいております。

講習会では、試験の重点項目を示すとともに、プレゼンテーションソフトを使用した視覚資料も利用しており、受講者にとって解りやすい講習会としております。今後とも、受講生の要望である「試験対策に徹した講習」となるよう、出題傾向を念頭に置いたメリハリのある講習としていきます。

講習会への参加、資格の取得は従業員のスキルアップにもなりますので、是非受講をご検討ください。また、インターネットでの受付も行っておりますので、ご利用ください。

## DVDをお貸しします!!

～社内教育にお役立てください～

地区支会・地区協会の会員の皆様に、(一財)全国危険物安全協会が平成21～27年度の「危険物取扱者保安講習会」用に作成したDVDを貸し出しいたします。

DVDのリストやお申し込み方法など、詳しくは当協会のホームページの「DVD貸出のご案内」をご覧ください。



# 合格への近道 受験準備講習会のお知らせ

乙種第四類の受験者を対象とした受験準備講習会は、今年度は下記の3回となりました。是非参加されまして合格を目指してください。

講習内容は、より試験対策に徹した、要点を絞った内容としており、多くの方々からご好評をいただいております。

「受講案内」や「受講申込書」は、最寄りの消防本部・

消防署、各地区支会・地区協会事務局、当協会に用意してあります。受講案内は当協会のホームページでもご覧いただけますし、インターネットでも申し込むことができます。(申込受付期間経過後でも定員に達していなければ受講できます。当協会へお問い合わせ下さい。)

## 平成29年度 最終の乙種第四類受験準備講習会日程

講習日	講習会場	定員	申込受付期間	講習会場所在地
1月17日(水)～18日(木)	長岡新産管理センター	80	12月20日～1月10日	長岡市新産 2-1-4
1月23日(火)～24日(水)	上越市市民プラザ	100	12月26日～1月16日	上越市土橋 1914-3
1月25日(木)～26日(金)	新潟テルサ	100	12月28日～1月18日	新潟市中央区鐘木185-18

講習時間 1日目：午後1時30分～午後4時30分(物理/化学)  
2日目：午前9時30分～午後4時30分(燃焼消火/性質等、関係法令)

## 〈参考〉平成29年度 最終の危険物取扱者試験日程

試験日	受付期間		試験の種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
平成30年3月3日(土)	1月7日(日)～1月21日(日)	1月10日(水)～1月24日(水)	全種類	新潟市、長岡市、上越市

(注) 試験のお申し込みは、(一財)消防試験研究センター新潟県支部です。(☎025-285-7774)

## 平成30年度 当初の乙種第四類受験準備講習会の計画(案)

平成30年度当初の受験準備講習は、下記のとおり予定しております。

3月下旬に発行する平成30年度の「受験準備講習会受講案内」や当協会のホームページをご覧ください。

日程が変更となる場合もありますので、詳しくは、

講習日	講習会場	定員	申込受付期間	講習会場所在地
4月19日(木)～20日(金)	トキの村 元気館	50	4月1日～4月12日	佐渡市新穂瓜生屋362-1
4月19日(木)～20日(金)	新潟テルサ	60	4月1日～4月12日	新潟市中央区鐘木185-18
4月23日(月)～24日(火)	上越市市民プラザ	100	4月1日～4月16日	上越市土橋 1914-3
4月25日(水)★1日講習	長岡新産管理センター	80	4月1日～4月18日	長岡市新産 2-1-4
4月26日(木)～27日(金)	新発田市生涯学習センター	48	4月1日～4月19日	新発田市中央町5-8-47

## 〈参考〉平成30年度 最初の危険物取扱者試験日程

試験日	受付期間		試験の種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
平成30年6月2日(土)	4月10日(火)～4月24日(火)	4月13日(金)～4月27日(金)	全種類	新潟市、長岡市、上越市、新発田市、佐渡市

# 保安講習会のお知らせ

保安講習会の開催は、今年度は下記の講習会のみとなりました。受講義務のある方は、忘れずに受講してください。

「受講案内」や「危険物取扱者保安講習受講申請書」は、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区

協会事務局、当協会に用意してあります。また受講案内は当協会のホームページでもご覧いただけます。

詳しくは、当協会、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区協会事務局又は県庁消防課にお問い合わせください。

## 平成29年度 最終の危険物取扱者保安講習日程

講習日	講習会場	講習種別 ※			定員	受講申請受付期間	講習会場所在地
		一般(その他)	給油取扱所	コンテナ			
2月14日(水)	新潟テルサ	午前			140	1月10日～1月24日	新潟市中央区鐘木185-18
		午後			140		
2月15日(木)		午前		午後	各140		

※講習時間等 <午前の講習> 受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分  
<午後の講習> 受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

**保安講習、受験準備講習とも定員に余裕がある場合は、受付期間終了後でも受け付けます。協会ホームページの受付状況をご覧ください。当協会へお問い合わせください。**